

## 平成28年度 市立川島中学校学校関係者評価（報告）

- 1 期日 平成29年3月3日（金） 午前9時30分から午前11時まで
- 2 会場 市立川島中学校 校長室
- 3 出席者 市立川島中学校学校評議員，学校長，教頭，1～3学年主任
- 4 質疑及び主な意見（◎評議員○学校）

各学年主任から，今年度の課題への取組とその成果及び現在の生徒の実態を説明した後，学校から学校評価の分析資料を用いて概略の説明を行い，その後，ご意見を伺った。

◎全体として，非常に快適で楽しくよく分かる授業の展開がなされ，比較的良好な人間関係が結べていることが分かる。先生方の日頃の取り組みや努力の成果であり，素晴らしいアンケート結果である。

◎一方で，生徒・保護者・教職員ともに「だいたいそう思う」・「あまりそう思わない」という真ん中によった回答が多く，はっきりとした意思表示が少ないように思われる。物言わぬ多数派から脱却し，自主性を育む必要がある。何を感じて主体的にどう動くかという土台作りを，教職員や周りの大人からしっかりしていくことが大切だ。

◎自主的に学習する習慣や実践力をどう高めていくかは，いつの時代も課題である。

○昨年度の学校評価において，家庭学習に十分取り組めていないことが大きな課題であることが分かったため，今年度は各学年で重点的に取り組んだ。その結果，生徒・教職員・保護者ともに，肯定群の割合が昨年度よりも数パーセント上がったが，まだ十分とは言えないため，今後も継続して取り組む必要がある。

◎アンケート結果から，保護者はPTA活動に消極的であることが分かる。30歳から40歳台の保護者に当たる世代は，忙しいこともあり，協力的ではあるが役が当たることは避けたいという考えのようである。人が集まると面倒であるかもしれないが，集まらないと何も生まれてこない。当たり前にお互いが世話をし合うような関係をつくって行って欲しい。

◎子どもの自尊感情や将来の夢に対する肯定的回答があまり高くない。自分自身も含めて，キャリア教育や自分自身を語るというようなことができてきたか考えさせられた。学校では，職場体験学習を行っているが，例え自分の望む職業でなくても，実際に職業を体験することは非常にいい経験となる。将来の夢と職業は必ずしも重なるものではないが，進路保障という観点からも，学校や保護者がしっかりと子ども達に職業についてアドバイスするなど働きかけていく必要がある。

### 5 まとめと課題

学校評議員の皆さんには，事前にアンケート結果と分析の資料をお届けしていたので，短時間ではあったが，本校の課題に対して焦点化したご意見を多数いただけた。学校評議員として，学校行事への参加や授業参観，部活動の取組，生徒の日頃的生活態度などについて常に關心をもち，生徒に機会があれば声を掛けるなどしてくださっており，生徒や保護者，地域の実態を踏まえた本校教育活動への貴重なご示唆をいただけた。特に，肯定的回答があまり高くなかった，子どもの自尊感情や将来の夢に関する内容は，次年度の課題として，さらに具体的な取組を検討し，少しでも改善したいと考える。また，今回いただいたその他の意見や提案についても，次年度の目標設定や具体的な活動計画に反映させ，地域に開かれ，すべての生徒や保護者にとって魅力ある学校づくりに努めていきたい。